

2020年2月15日
UAゼンセン日本介護クラフトユニオン
第20回中央委員会

会 長 あ い さ つ

会 長 久保 芳信

はじめに

日本介護クラフトユニオン第20回中央委員会に参集いただきました中央委員の皆さん、大変お疲れ様です。また、日頃は本部・総支部・支部活動や分会活動など、それぞれの立場でNCCUの諸活動を支えていただいていることに感謝申し上げます。

それでは、第20回中央委員会開会にあたり、当面する運動の課題と私たちを取り巻く諸情勢について所感を述べたいと思います。

2020労働条件交渉

最初に、本中央委員会のメインテーマであります、2020労働条件交渉について述べたいと思います。年が明けて早いもので2月も半ばとなり、賃金をはじめとする労働条件交渉の時期が来しました。

介護従事者が現在の職場で長く働き続けられるよう、賃金をはじめとする労働条件の向上が不可欠です。2018年度の全産業平均賃金306,200円に対し、NCCUにおける平均賃金は244,206円で、その差は約62,000円となっています。

また年収ベースを見ると全産業平均440万円に対し、NCCU賃金実態調査では2017年度時点で350.1万円となっており、その差は約90万円もの開きがあります。昨年、消費税の引き上げに伴う特定処遇改善加算などの対応が図られましたが、依然として格差が生じている現実があります。組合員就業実態調査において、働く上での不満の第1位は「賃金が安い」です。介護従事者が長く働き続けられる処遇を実現するためにも改善が必要です。

また、働き方改革関連法の一つ、パートタイム・有期雇用労働法が今年4月から施行され、「同一労働同一賃金」が順次適用されます。同じ仕事内容であれば、雇用形態によって不合理な待遇差を設けてはならないというもので、不合理な待遇差があれば是正を図らなければなりません。労使で雇用形態による不合理な格差が生じていないかしっかりと現状確認して、もしもあるようであれば不合理な待遇差を解消するための協議を進めてください。

さて、介護業界が直面している最大の問題は「人材不足」です。NCCUは介護保険

法について議論する介護保険部会において、「介護人材を確保するための最大の処方箋は処遇改善である」と再三意見を述べてきたところです。介護人材確保のためには、賃金をはじめとする労働条件の改善が必須です。介護の仕事をいつまでも続けられる賃金水準となるよう、また人材不足を解消するという観点からも全産業平均に近づけなければなりません。NCCU全体の統一要求である格差是正の必要性を確認し、NCCU一丸となって押し進めていきましょう。

政治活動

介護従事者の労働環境に直結する介護保険制度をはじめ、日々の暮らしや人生設計に関わる社会保障制度や税制は、政治と深く結びついています。従って、NCCUの活動に対してご理解とご協力をいただける国会議員・地方議会議員の方々と緊密な協力体制を築くことが重要であると考えています。現在、国政においては、川合孝典参議院議員・田村まみ参議院議員・山井和則衆議院議員・柚木道義衆議院議員・森本真治参議院議員と連携しており、私たちの代弁者として国会でご活躍いただいています。また地方議員については総支部を主体として連携強化を進めています。今年は新たに「NCCUタウンミーティング」を各地で開催し、介護保険制度や地域の介護行政における問題点などを共有して、地方議会で論議いただけるよう強力に進めていきたいと考えています。そのために、私たちの活動内容を理解していただける国会議員・地方議員を一人でも多く作っていかなくてはなりません。政治活動に対するより一層のご理解とご支援をお願いいたします。

介護報酬改定

2021年4月の介護報酬改定に向けての議論が始まっています。私たち介護従事者の労働条件に直結するものであり、介護給付費分科会の議論を注視し、連合の委員を通して、私たちの意見を述べていただく必要があると考えています。また、今年は介護報酬引き上げを求める署名活動も展開して、厚生労働大臣へ介護の現状を訴えていきたいと考えています。組合員の皆さんの積極的な取り組みをお願いします。

結成20周年

さて、2020年はNCCUにとって記念すべき年です。

2020年1月24日で結成20周年を迎えました。結成20周年を迎えることができましたのも、組合員約8万4千名の団結と、結成からこれまで支えていただきました諸先輩や関係者の方々のお力添えがあったからこそと考えています。改めて敬意を表し、厚く感謝申し上げます。

20周年キャッチフレーズは317作品の中から選ばれた『つながる絆、つなげる

未来。』に決まりました。また組合歌の作成に向け、現在、歌詞やワードの募集も行っているところです。そのほかの記念企画は、20周年実行委員会を中心に進めておりますのでどうかご期待ください。あらためて2020年が結成20周年のメモリアルイヤーとなることを祈念すると共に、大きな節目の年を迎えられたことを組合員の皆さんと共に喜び合いたいと思います。

自然災害、感染症対策

さて、昨年は台風や暴風雨による洪水災害などにより、組合員やご家族の住宅が被災されて、中には避難生活をせざるを得ない方もおられました。被災されました方々にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。組合員の皆さんにはカンパ活動にご協力いただきありがとうございました。現在、被災された組合員に対するカンパ金給付が進んでいるところです。今年は少しでも災害が少ない年となるよう皆さんとともに祈念したいと思います。ここ数年の災害は地球温暖化に起因しているのではないかと推察されています。私たちも、少しでもCO2排出を減らすために身近なところから心掛ける必要があると思います。

現在、喫緊の課題は、新型コロナウイルス対策です。世界中に感染者を増やしており、日本でも感染者が増えています。早期収束することを強く切望しますが、私たち労働組合の活動の中では、会議・集会・研修会など組合員が集まる場面が多いため、細心の注意を払わなければなりません。状況によっては開催の中止も英断しなければならないと考えています。組合員と組合員のご家族・ご利用者の健康維持を重要課題として、また自己防衛としても手洗い・うがい・アルコール消毒・マスク着用が重要ですのでご留意ください。

結びに

最後になりましたが、再度、今年の2020労働条件交渉は介護従事者が長く働き続けられる処遇を実現するために、格差是正の交渉であることを再度確認したいと思います。また、NCCU運動をさらに力強く進めていくためには、本部、総支部、支部、分会の活動において組合員の皆さん一人ひとりとの協力体制をつくることが重要です。

結成20周年を迎えて最初の中央委員会において、NCCUが持つ力を最大限に注ぎ、さらなるNCCU運動を展開していくことをお約束して、冒頭の挨拶とします。

組合員の幸せのため、共に頑張っていきましょう。

以上